

令和4年度 北海道・東北ブロックプラットフォーム PPP/PFI推進首長会議資料

北海道開発局
事業振興部
令和4年10月13日

- 都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続き
- 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される

条件

園路、広場等の公園施設（特定公園施設）の整備を一体的に行うこと

- ・公募対象公園施設を設置、管理する者は、園路、広場等公園管理者が指定する公園施設をあわせて整備することが必要
- ・特定公園施設の整備費は、公募時の条件で、全額事業者負担とすることも、公園管理者が一部負担とすることも可能

特例 1 設置管理許可期間の特例（10年→20年）

- ・公募設置等計画の認定の有効期間は20年
- ・その期間に許可申請があった場合は設置管理の許可を与えない
ならない
(設置管理許可の期間の上限は10年のままだが、認定期間（上限20年間）内は更新を補償)

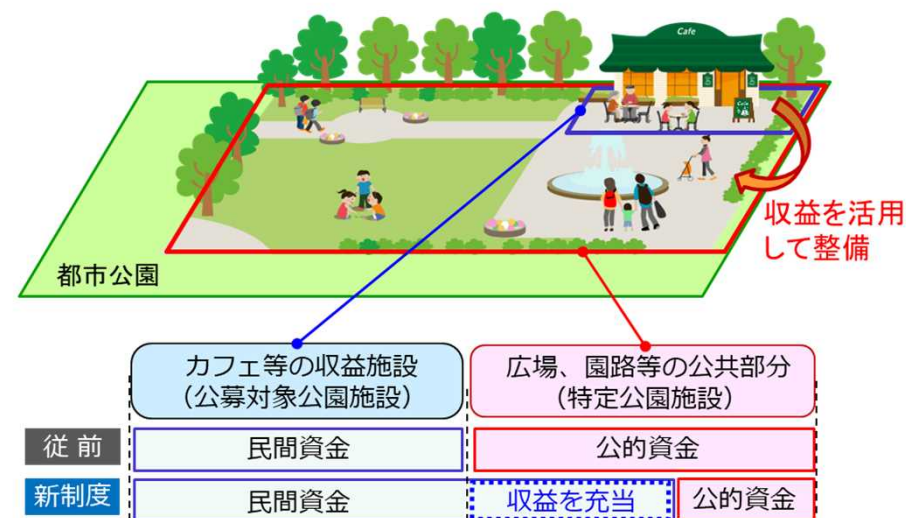
特例 2 建蔽率の特例（2%→12%）

- ・通常、飲食店、売店等の便益施設の建蔽率は2%
- ・公募対象公園施設については、休養施設、運動施設等と同様に10%の建蔽率上乘せ

特例 3 占用物件の特例

- ・認定公募設置等計画に基づく場合に限り、自転車駐車場、看板、広告塔を「利便増進施設」（占用物件）として設置可能

＜制度を活用した公園整備イメージ＞



〔交付金を活用した場合の事業採択要件〕

- 地方公共団体の費用負担が1割以上削減
- 都市公園の面積が0.25ha以上
- 民間が収益施設と公共部分を一体的に整備

位置・概要

恵庭市の概要



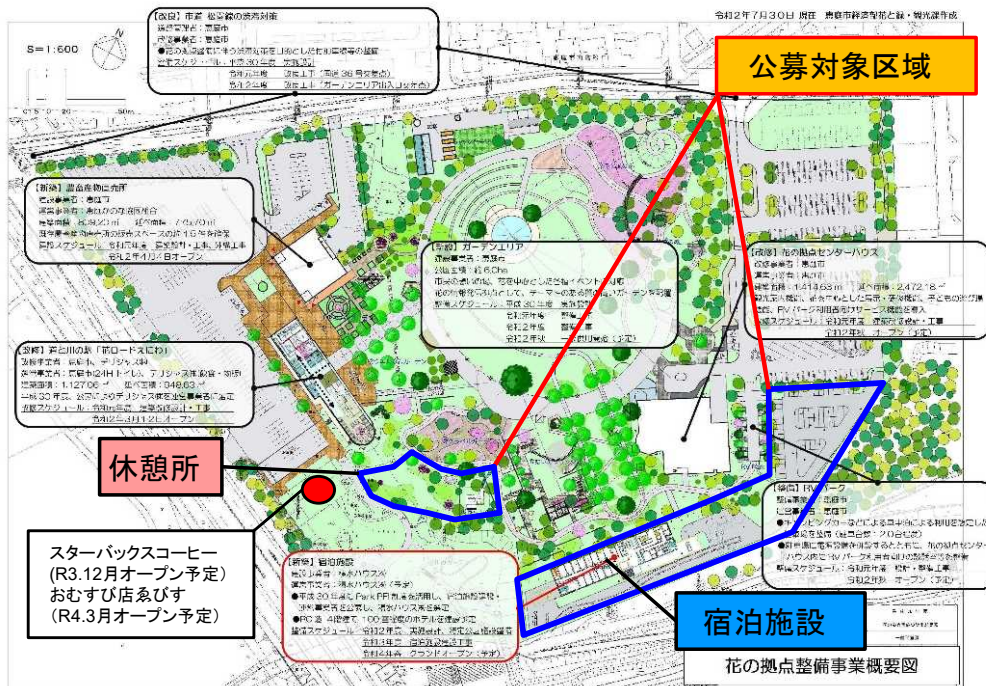
市域面積：294.65 km²
人口：70,120人
(令和2年10月31日現在)

【都市緑地の概要】

緑地名：漁川河川緑地
「花の拠点(はなふる)」
種別：都市緑地
面積：8.6 ha(緑地全体は18.7ha)
特徴：道と川の駅「花ロードえにわ」、
農畜産物直売所「かのな」が隣接。
令和4年度に開催される第39回
全国都市緑化北海道フェアのメイン会場

【活用制度】官民連携賑わい拠点創出事業

【平面図】



実施内容

- 【事業手法】 公募設置管理制度(Park-PFI)
- 【事業期間】 20年間
- 【事業内容】 収益施設である宿泊施設を整備した事業者が特定公園施設である休憩所を整備する。

【目的】

新たな公園利用者を創出し、さらには恵庭市内観光施設への誘客促進を図り、地域への交流人口の拡大に寄与するとともに、市内の観光振興に資することを目的に、公園の新たな機能として、民間活力により宿泊施設を設置

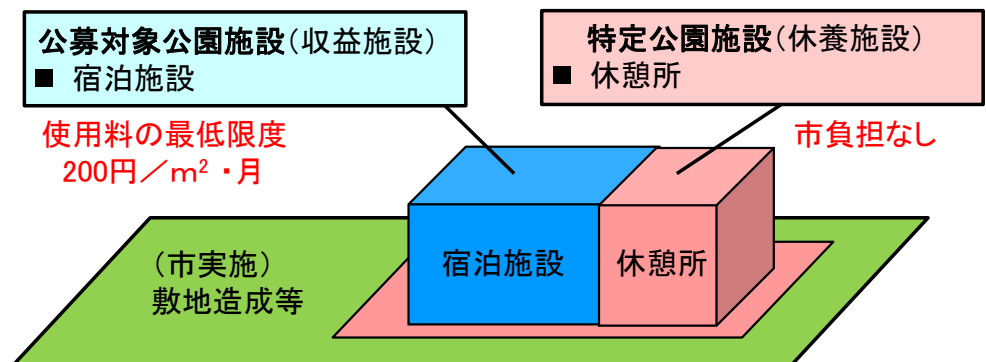
【経緯】

- 平成29・30年度に実施した隣接施設「道と川の駅」のサウンディング調査において、宿泊施設設置の意見が出される
- 平成30年度に民間事業者を公募し、選定
- 令和4年度完成予定

【特徴】

- 市民活動により展開しているオープンガーデン(個人の庭)を公園内で模擬体感できるような休憩所の設置、公募対象公園内の施設及び周辺の景観と調和した宿泊施設外構の設計・整備を条件に公募
- 事業者が出店を検討しやすいよう公園に隣接する道と川の駅及び農畜産物直売所の利用状況や収支実態等の情報を提供

【概念図】



【事業効果】

公募対象公園施設で生じる利益の一部及び公募対象公園施設の立地に対する使用料(30万円/月程度の見込み)を公園の維持管理費に充当
民間事業者が特定公園施設を建設(約3,000万円)することで、約1億円の公的負担削減の見通し

設置された宿泊施設、飲食施設の状況



「フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ」の外観



「フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ」の客室からの眺望



「フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ」の客室



「スターバックス コーヒー はなふる恵庭店」と「恵庭おむすび えびす」

第39回全国都市緑化北海道フェア開催概要

愛称：ガーデンフェスタ北海道2022

開催テーマ：花と緑 ～恵みの庭を人がつながる北の大地から。

実施期間：令和4年6月25日（土）～令和4年7月24日（日）

メイン会場：花の拠点（はなふる）、中島公園、隣接する河川空間及びまちなか会場（恵庭市）

協賛会場：国営滝野すずらん丘陵公園、ウポポイ（民族共生象徴空間）、真駒内公園他各道立公園など道内の32か所の庭園等

主催者等：（提唱）国土交通省
（主催）北海道、恵庭市、公益財団法人都市緑化機構



シンボルマーク



北海道観光PRキャラクター
「キュンちゃん」
ガーデンフェスタver



道と川の駅「花ロードえにわ」と花の拠点(はなふる)



北海道におけるポストコロナに向けた新たな動き

米国のマリオット・インターナショナルは、2022年に恵庭市、長沼町、南富良野町の3カ所で「フェアフィールド・バイ・マリオット」ブランドのホテルを立て続けにオープンさせ、**2028年度開業予定のJR札幌駅南口再開発ビルに最上級ブランドのホテルを出すことが決定されるなど**、北海道(日本)において積極的に展開している。

また、**北海道新幹線の札幌開業**が大きなチャンスであるとし、**新しいパートナー**が見つかれば、**新しいホテルを開業する可能性**があることも話している。

